

問 最近、不祥事が多い。何故なのか。市長の考えは。

答 何のことかわからない。詳細は担当部長に答えさせる。

問 例えば、1, 100坪の土壌汚染の内容を議会に対して報告するタイミングが遅かったことを散々指摘しても「遅かったです、済みません」で終わる。「なぜ」に対して答えていない。「市長がまだ出すと言った」とは、部長からは言えない。結局、「なぜなのか」は、市長しか答えることはできない。数々の不祥事について市長はどのような責任を感じているのか。

答 神聖なる議会で、本人の思いつきや思い込みでの質問、フェイクニュースとしか言われていないことへは、一切答弁を控えていただくと。土壌汚染を議会に説明しなかったことの何がフェイクニュースなのか。フェイクニュースとはどういう意味か。

答 土壌汚染について、「市長が出すな」と言ったといわれるが、それは議員が勝手に思っていることである。そういうことに対して答弁はしない。

問 6月位にわかっていた土

壌汚染について、議会に対し9月でも12月でも報告せずに市議会議員選挙後の3月で構わないという判断したのは市長だと思ったが、違うのか。

答 組織の中で判断したことである。

ホテル、庁舎、駅の改廃等の市長の構想

問 駅の改廃等は、市・県・近鉄らのトップが当初案を出すのは当然だが、市民全体に説明し同意を得てこそ民主主義である。現状では、市民に対するアピールが非常に弱く理解されていない。市庁舎や駅のランドデザインについて市民に説明するタイミングはいつか。市長の考えは。

答 丁寧に確実に説明し、議会の同意を得、そして、市民の合意も得て進めようとしている。手順は、今もきっちりしている。議員一人の思いつきで「していない」と言われるのは不快に感じる。

問 「医大・周辺まちづくり検討業務委託(その1) (医大・周辺まちづくり検討事業(主プロ))」報告書 平成29年3月 株式会社URリンケージ西日本支社」の資料がある。この中で、病院前新駅をつくることに関し「計画駅は既存の八木西口駅を移設するものである」との記載がある。両駅が存続する提案は出ておらず、県は両駅が存続するプランを発注すらしていない。市長はこの資料をいつ見たのか。地元は八木西口駅存続の要望書を出している。要望書には、地元は市から「何の説明もない」とある。市長は「説明していません」と言うが、どういうことか。

答 「計画駅は既存の八木西口駅を移設するものである」との記載は事実である。新駅の規模やまちづくりを検討する際の前提条件として想定されたものであり、現段階で、八木西口駅を移転して新駅を整備することが正式に決まったわけではない。地域住民への説明は、新駅や慈明寺町・四条町線の道路の整備に関しては、四条町の本村・小泉堂、慈明寺町、寺田町、山本町の自治会の役員を含め関係者に説明し、今井町の一部の方には自治会長の要望などがあり説明をした。本市は、八木西口駅を残したいことを発信し、県は、医大周辺のまちづくりの中で、新駅を核とする周辺整備をしたいと考えており、まちづくりの中で新駅をつくることは賛同している。

問 移設の場合と新築の場合とで市の負担額が同じなのがおかしい。新駅のつもりで市が8億10億という、3分の1の費用を負担したとしても、近鉄が八木西口駅を残してくれる確約がない。とすれば、結果的に移設に付き合わされて市は負担金を出すのかということになる。新駅の負担割合まで考えた上で3者合意を得てから進むべきではないか。

答 近鉄は受益分だけの負担といっている。新駅設置にかかる費用は、割合ではなく、近鉄が見合う応分の負担という話で聞いており、まだ全く詰め切っていない状況である。不確定要素が多く説明は難しい。3者が共有できる駅の構想プランのようなものを作らなければならなく、直ちに地元へ説明するのは難しい。近

鉄、県、そして国とも協議し進め、詰めたい。

問 民間ホテル計画が頓挫してしまった市内業者が「税金のホテルは民業圧迫」と抗議をしている。奈良市の例では、JR奈良駅西側の市有地を、購入業者が落札して140室のホテルとマンションを自力で建てた。本市も1, 100坪の土地の半分を売って、「140室のホテルを作る条件で、余った土地は自由にどうぞ」というやり方をしていけば、参入業者は間違いなくあった。税金でホテルを建てなければならなかった理由がわからない。当事者が納得できるように説明をしてもらいたい。

答 市は当時のお金で35億円です。その土地を取得した。これ



新分庁舎を含む複合施設